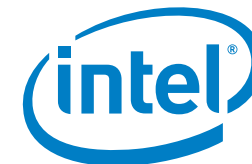


Intel ISEF

Intel International Science and Engineering Fair



Intel ISEF (インテル アイセフ)とは?

「Intel International Science and Engineering Fair (Intel ISEF: インテル国際学生科学フェア)」は、高校生を対象とした世界最大の科学コンテストで、毎年50カ国以上から、1,500人を超す科学者の卵が集まり、自分たちの研究を披露しあいます。ISEFは、1950年より、米国の非営利団体であるSociety for Science & the Publicが運営し、インテルは1997年から、そのメインスポンサーとして活動を支援しています。

研究内容は、高校生にとっても身近な携帯電話のようなものから、自然科学や物理学といったものまで多種にわたります。これらの研究結果を、各自のブースの中で資料や写真、パネルを展示し、実際の実験を再

現するなど工夫し審査員に説明します。審査は、ノーベル賞受賞者をはじめ、博士号をもつ科学者や技術者た



最優秀賞受賞の喜び

Intel ISEFに出場するには?

Intel ISEFは、全米50州と50カ国以上で開催される500以上の科学コンテスト(サイエンスフェア)と提携し、各コンテストで、Intel ISEFに派遣する3つのプロジェクト(個人またはチーム)が選出されます。Intel ISEF出場への道は提携しているフェアに応募することから始まります。フェアで選出された高校生はファイナリストと呼ばれIntel ISEFに出場することができます。

「Intel ISEF 2012」に日本から参加したファイナリストは、朝日新聞社主催のJSEC(ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ)と、読売新聞社主催の日本学生科学賞から選出されました。

インテルではファイナリストへの直接支援として、事前研修会を行っています。ファイナリスト達は、英語でのプレゼンテーションのトレーニングや、発表資料への助言を受けると共に、Intel ISEF同窓生とも交流し、本大会にむけて準備の仕上げをします。

ち約1,000人によって行われます。偉大な科学者や一流の技術者との意見交換や、直接アドバイスを受けることは、参加者にとって強い刺激となり、さらに研究への意欲は高まります。また、研究のうち約20%が特許を申請するほど高度な内容となっているため、学術機関や一般企業など各方面からも、高い評価を受けています。最優秀の1名にはゴードン・ムーア賞として奨学金7万5千ドルが、次点である2名にはインテル青年科学賞として奨学金5万ドルが授与されます。

参加者には、研究発表だけではなく世界中の高校生との交流、Intel ISEF恒例となっているピンバッジ交換やダンスパーティーなど、コンテストの枠を超えた数々の楽しいイベントも用意されています。



Intel ISEF 2012は、ペンシルバニア州ピッツバーグで開催され、約70の国や地域の生徒たちが参加しました(写真提供: NSS)。

写真提供: NSS



表彰式の後、和やかな表情で記念撮影をする日本のファイナリスト

「私たちは、今後の世界の発展に、数学・科学への取り組みは大変重要だと考え、インテル国際学生科学フェアを支援しています。何百万人もの生徒がこのコンテストを通して、その能力を開花させ、イノベーションを生み、地球が抱える大きな課題を解決へと導いてくれることでしょ」

インテル基金
エグゼクティブ・ディレクター
Wendy Hawkins



- 提携フェアの情報はこちらから 特定非営利活動法人 日本サイエンスサービス(NSS)運営サイト <http://kenkyu.info/>
- Intel ISEFの情報はこちらから インテル教育支援サイト <http://www.intel.com/jp/education/>

科学自由研究の世界大会 Intel ISEF 2012

日本代表の高校生、世界で研究を発表



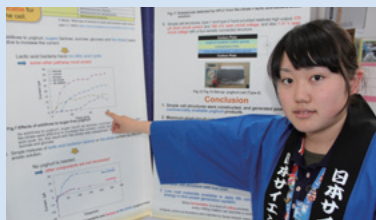
各国代表と交流する日本代表



開会式でアピールする日本代表

ヨーグルトによる発電の機構

長野県屋代高等学校 3年
堀内 遥加さん

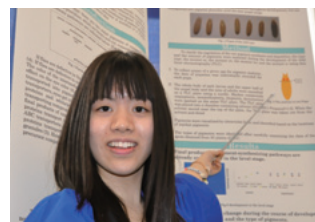


外国のファイナリストの友達がたくさんできてすごうれいす。一般公開では折り紙がとても人気でどんどんなくなりました。Intel ISEFを通して、世界は広く、いろいろな文化があって素晴らしいと思いました。まだまだ知りたいことはたくさんあるので、大学ではさらに化学の知識を増やし英語も勉強して、世界で通用するような研究をしたいなと思いました。

外国のファイナリストの明るさや笑顔が印象に残り、科学に対する情熱に圧倒されました。はっぴや浴衣のおかげで日本チームに話しかけてくれる人が多くて楽しかったです(鈴木将元さん、左)。英語が話せなくて辛い時もありましたが、一般公開では子供たちもたくさん来てくれて、祭りのようで楽しかったです(立松さん、中央)。自分の言いたいことが言い切れなかったのが悔しかったので、もっと勉強しようと思いました。今後このように発表できるチャンスがあればいいなと思いました(鈴木麻衣子さん、右)。

キロショウジョウバエの眼色素素

埼玉県立川越女子高等学校 2年
宇賀神 希さん



発表はあまり自信がなくて緊張しましたが、通訳の方が助けてくれてなんとか乗り切りました。一般公開では、ハエがかわいいと言ってくれるおばさんが来てくれたり、いろいろな国の人たちの研究を見られたりして面白かったです。楽しそうに自分の研究を語る他のファイナリストを見て、すごいと思われることも大事だけど、やはり自分が好きでやりたい研究を続けたいと思いました。これからもハエの研究を続けたいです。

ゼニゴケの表裏の分化について

名古屋市立向陽高等学校
鈴木 将元さん、立松 俊和さん、鈴木 麻衣子さん



外国のファイナリストの明るさや笑顔が印象に残り、科学に対する情熱に圧倒されました。はっぴや浴衣のおかげで日本チームに話しかけてくれる人が多くて楽しかったです(鈴木将元さん、左)。英語が話せなくて辛い時もありましたが、一般公開では子供たちもたくさん来てくれて、祭りのようで楽しかったです(立松さん、中央)。自分の言いたいことが言い切れなかったのが悔しかったので、もっと勉強しようと思いました。今後このように発表できるチャンスがあればいいなと思いました(鈴木麻衣子さん、右)。

土壌動物相に関する研究 一異なる植生・気候帯・季節を比較して

茨城県清真学園高等学校 2年
矢野 更紗さん



どの国のファイナリストもとても真面目で、研究や学問のことしか考えていない人たちのだろうと思っていましたが、パーティーなどで想像を絶するようなテンションで楽しんでいる姿に驚きました。審査員は皆オーバーアクションで日本よりもやりやすかったです。発表スタイルも日本の大会とは全く異なり、実際に参加しないとわからない貴重な体験ができたと思います。この経験を大学生や研究者になったときに生かしていけたらいいなと思いました。

水面下からの水噴流による水流に関する研究

広島県立国泰寺高等学校
志賀 浩一さん、土井 ひらくさん、上田 和茂さん



発表は緊張しましたが、審査員の反応がよかったです。世界は広いと感じ、勉強になりました(志賀さん、中央)。たくさん練習したのでもうまくプレゼンができたと思いましたが、他のファイナリストのレベルが高くて賞が取れるか不安でした(土井さん、左)。パーティーなども華やかで楽しかったので、また挑戦してこの舞台に戻ってきたいなと思しました(上田さん、右)。(米国物理学教員協会・物理学協会賞佳作を受賞)

トゲアリの一時的社会寄生

東京都創価高等学校 2年
井戸川 直人さん



Intel ISEF がこんなに楽しいイベントだとは想像しておらず、みんなと一緒に写真を撮ってくれと頼まれたり、蟻を研究している人と友達になれたりしてうれしかったです。英語は難しかったですが、自分の研究を説明するとオーバーアクションで聞いてくれて、話していて気分がよかったです。世界各地のファイナリストとふれあい、彼らの研究意欲に驚かされ、これからも研究をがんばり続けようと思いました。

Intel, インテル, Intel ロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。
出場者の所属学校名は、第9回 JSEC および第55回日本学生科学賞 受賞当時(2011年12月)のもので、現地取材・写真提供: 特定非営利活動法人 日本サイエンスサービス (NSS)

インテル株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1
<http://www.intel.co.jp/>

©2012 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。
2012年7月
313670-006JA JPN/1207/10K/SE/Education/NY

